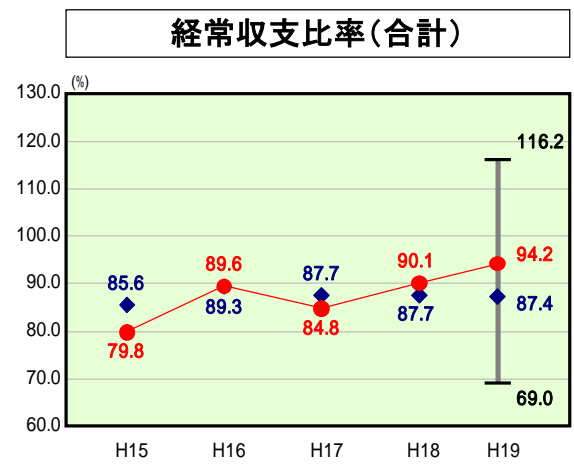


# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 湯川村

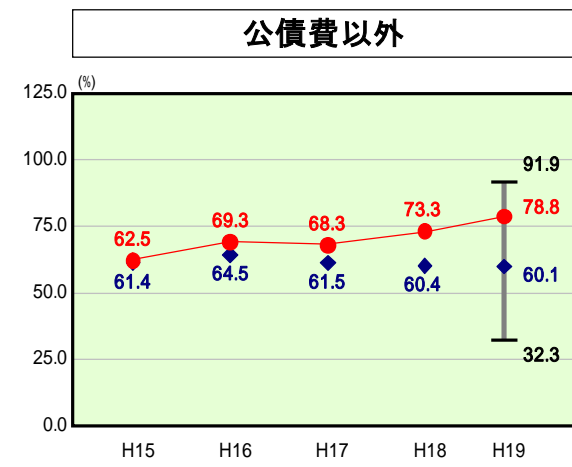
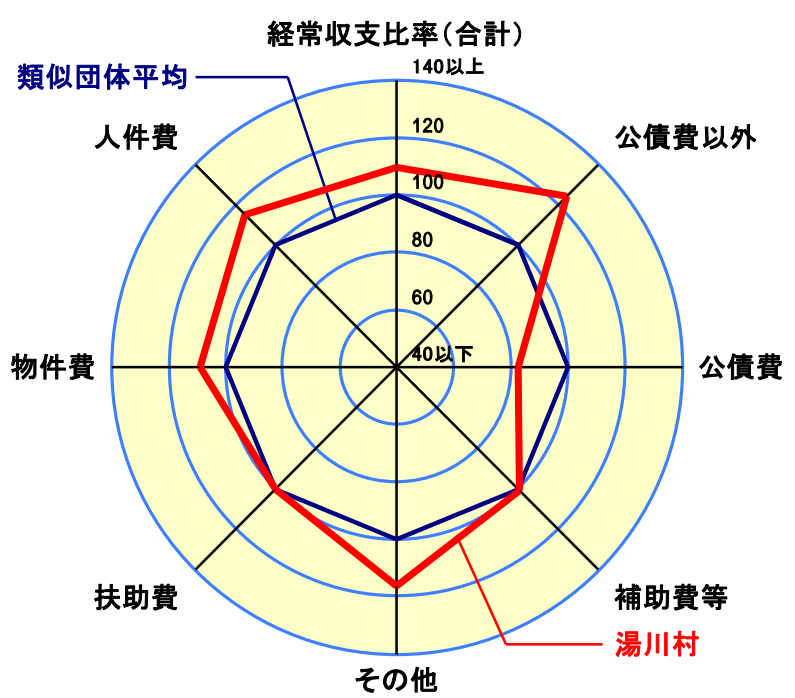
## 経常収支比率の分析



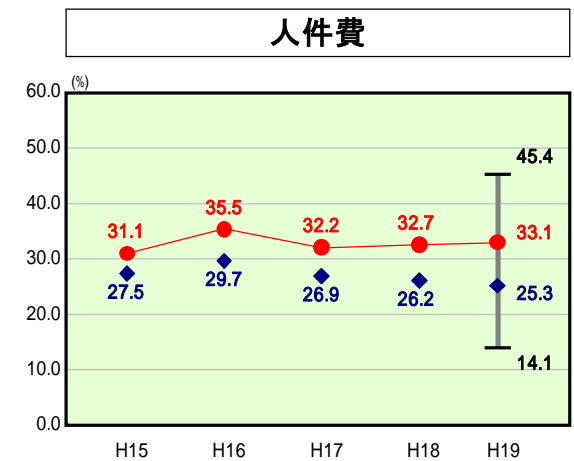
当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 T  
類似団体内最小値 L

人口	3,642人(H20.3.31現在)
面積	16.36 km <sup>2</sup>
歳入総額	1,926,909千円
歳出総額	1,841,763千円
実質収支	83,991千円

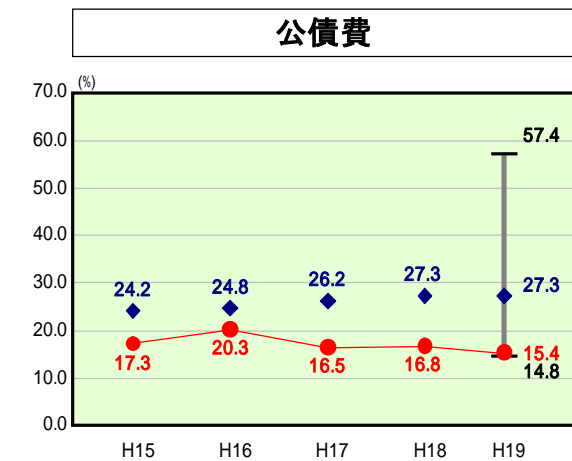
H19類似団体内順位 98/129  
全国市町村平均 92.0  
福島県市町村平均 89.0



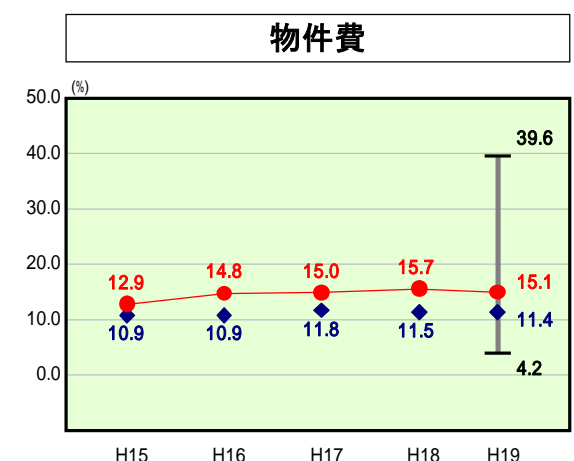
H19類似団体内順位 128/129  
全国市町村平均 71.7  
福島県市町村平均 69.1



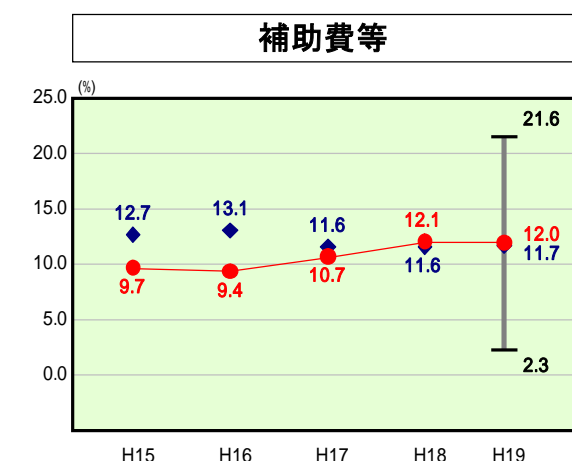
H19類似団体内順位 116/129  
全国市町村平均 28.0  
福島県市町村平均 26.7



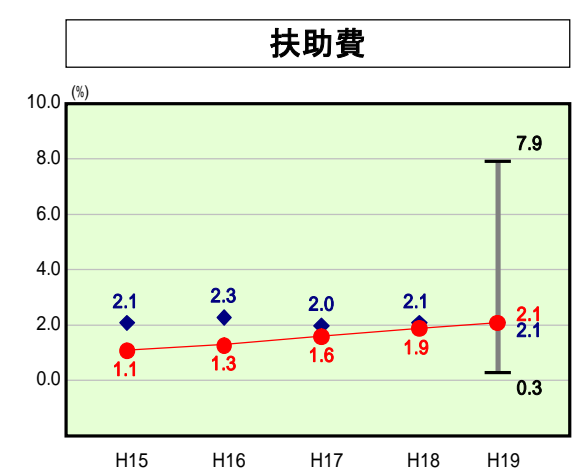
H19類似団体内順位 3/129  
全国市町村平均 20.3  
福島県市町村平均 19.9



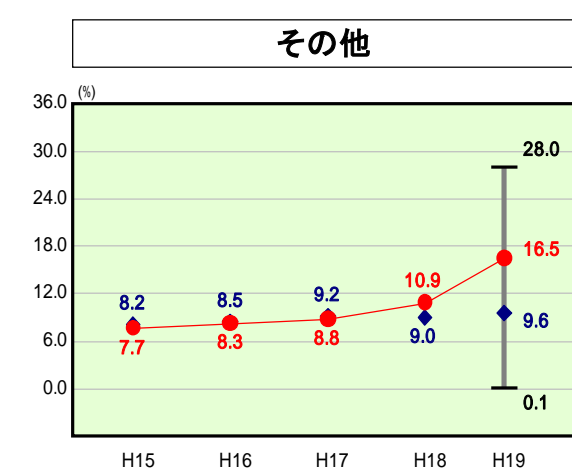
H19類似団体内順位 111/129  
全国市町村平均 13.1  
福島県市町村平均 13.0



H19類似団体内順位 74/129  
全国市町村平均 10.4  
福島県市町村平均 10.0



H19類似団体内順位 80/129  
全国市町村平均 8.8  
福島県市町村平均 6.2



H19類似団体内順位 123/129  
全国市町村平均 11.4  
福島県市町村平均 13.2

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析欄**

○経常収支比率：平成19年度決算では経常収支比率が94.2%と前年度より4.1ポイント悪化した。これは前年度と比較して経常一般財源が微増したにもかかわらず、歳出において義務的経費(人件費0.4増、物件費0.6減、扶助費0.2増)の削減が追いつかなかったことによる。今後も退職不補充や物件費の抑制などの一層の歳出削減を実施していくが、好転するには時間がかかるため、しばらくは現状維持に努める。

○人件費：類似団体と比較して人口1人当たりの決算額が全体を通して下回っている。これは従来支給していた各種特殊勤務手当の廃止や定員適正化管理計画による人員管理(66名→56名)などを行っているためである。今後も退職者が年々増加していくため(21年度1名、22年度2名、23年度5名)、減少していくものと思われる。

○公債費：類似団体平均を下回っているのは、過去において事業を実施するに当たり有利な過疎債を活用することにより、過剰な投資をしてこなかったことによる。しかし、20年度には統合幼稚園建設・村道踏切拡幅工事を、次年度以降は、教育関係施設の耐震補強工事が計画されている。一方、債務負担行為については、22年度において完了するため今後新たな債務負担行為を設定する予定は今のところない。財政の健全化を図るため、起債や債務負担行為などの将来負担についても充分に考慮し慎重に実施していく必要がある。

○普通建設事業費：普通建設事業費の人口1人当たりの決算額は類似団体を大幅に下回っている。これは、道路や上下水道などのインフラ整備がほぼ完了し、近年大規模建設事業がなく推移したためである。今後は、教育関連を主として公共施設の耐震補強工事や老朽化した庁舎の建替などの工事については、財政計画に基づき堅実に実施していく。